

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している」

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	→

（注）4年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	→
生産活動	一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している	持ち直している	→
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる	→
設備投資	3年度は前年度を上回る見込みとなっている	3年度は前年度を上回る見込みとなっている	→
企業収益	3年度は増益見込みとなっている	3年度は増益見込みとなっている	→
住宅建設	前年並みとなっている	前年を下回っている	↘
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	→

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や供給面での制約、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売は、百貨店では外出機会の増加に伴い、国内客の回復など持ち直しの動きがみられるほか、スーパーでは内食・中食需要が定着しつつあり、売上が堅調に推移している。コンビニエンスストア販売及びドラッグストア販売は、住宅街などの店舗では売上が堅調に推移しているほか、都市部などの店舗では人出の増加に伴い、持ち直しの動きがみられる。ホームセンター販売は、DIY用品や園芸用品の需要等により売上が堅調に推移している。家電販売は、買替え需要に落ち着きがみられるものの、冷蔵庫や洗濯機などを中心に持ち直しの動きがみられる。乗用車の新車登録届出数は、前年を下回っているものの、消費者の購買意欲は、堅調に推移している。旅行取扱の状況は、総じて厳しい状況が継続しているものの、国内旅行において持ち直しの動きがみられる。

(主なヒアリング結果)

- まん延防止等重点措置の適用中は、来店客数が落ち込むなど厳しい状況が続いたが、3月下旬以降は、それまで来店を控えていた高齢者層やファミリー層などの客足が戻ってきているほか、売上についても、高額品などを中心として回復傾向にある。(百貨店・大企業)
- 冷凍食品など食料品が引き続き好調であり、業況は堅調に推移している。内食・中食需要が定着しつつある中で、今後外食需要が持ち直したとしても、売上が大きく落ちるとは考えていない。(スーパー・大企業)
- 人出の増加に伴い、繁華街や観光地の店舗を中心に持ち直しの動きが見られるほか、住宅街や郊外の店舗は引き続き堅調に推移しており、業況は改善している。(コンビニエンスストア・大企業)
- DIY用品などが引き続き好調を維持しているものの、前年の特需の反動により、前年と比べると売上は減少している。しかしながら、コロナ禍前と比較すると高い水準となっており、不調とは言い切れない。(ホームセンター・大企業)
- 引っ越しなどの新生活需要によって、冷蔵庫や洗濯機などの売上が増加しているほか、客単価が上がっており、比較的高価な商品を選択する客の割合が高くなっている。(家電量販店・大企業)
- 半導体不足や部品供給停滞の影響が長引いており、厳しい状況となっているが、客足や消費者の購買意欲は引き続き堅調に推移している。(自動車販売店・中小企業)
- 全体の業況としては厳しい状況が継続しているが、国内旅行については、感染の落ち着きに伴い、若年層を中心に人の動きが戻りつつあることから、少しずつではあるが持ち直しの動きがみられている。(旅行代理店・中堅企業)
- まん延防止等重点措置が解除された3月下旬以降、全店舗で営業を再開し、住宅街などの店舗を中心に客足も回復してきていることから、徐々にではあるが業況は持ち直してきている。(飲食サービス・大企業)

■ 生産活動 「持ち直している」

鉱工業生産指数(生産)は、供給面での制約が一部に残るものの、汎用・業務用機械、電子部品・デバイス、輸送機械などが上昇している。業種別にみると、汎用・業務用機械は、企業の省人化や効率化に向けた設備投資が活発であり、好調に推移している。電気・情報通信機械は、車載電池で自動車の生産調整の影響などがあるものの、需要は堅調である。生産用機械は、半導体製造装置などを中心に引き続き好調である。

- 人手不足やeコマース市場の拡大から、流通業を中心に需要が旺盛となっている。(汎用機械・大企業)
- リチウムイオン蓄電池は、車載向けで自動車の生産調整の影響を受けているものの、需要は旺盛となっている。また、データセンター向けの需要も継続している。(電気機械・大企業)
- 工作機械は、企業の積極的な設備投資意欲により需要が高く、生産は増加傾向にある。(生産用機械・大企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる」

有効求人倍率は横ばいで推移しているものの、新規求人数は増加傾向にあり、完全失業率も低水準で推移するなど、雇用情勢は持ち直しの動きがみられる。

- 人手不足感は継続しているが、今期は特に不足感が強い。中長期的に安定した経営を目指す上で、人材確保が最優先課題と考えているが、非常に厳しい状況。(飲食サービス・大企業)
- 従業員数については適正であり、採用活動で困っている状況にはない。しかし、若手が他社に転職するケースが目立っており、流出防止策として人材育成に力を入れている。(化学・大企業)
- 休業をしていないため雇用調整助成金は利用していないが、現状従業員は過剰気味である。観光が回復してきたときに人手不足にならないため、これ以上は減らすことができない。(宿泊・中小企業)

- **設備投資「3年度は前年度を上回る見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和4年1～3月期
 - 製造業では、電気機械などが前年度を上回っているものの、輸送用機械、鉄鋼などが前年度を下回っていることから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。
 - 非製造業では、娯楽などが前年度を下回っているものの、運輸・郵便、金融・保険などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

➢ 前年度に積極投資したことによる反動減。（輸送用機械・大企業）
 ➢ 安全対策整備を進めており、ハード面の整備を実施。（運輸・郵便・大企業）

- **企業収益「3年度は増益見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和4年1～3月期
 - 製造業では、輸送用機械などが減益となるものの、情報通信機械、生産用機械などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
 - 非製造業では、建設などが減益となるものの、運輸・郵便、卸売などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

- **住宅建設「前年を下回っている」**
 - 新設住宅着工戸数でみると、分譲マンションなどが減少していることから、前年を下回っている。

➢ 材料価格の高騰により、価格が下がるまで注文を見送るといった顧客もあり、受注面に影響が出ている。（建設・中小企業）

- **輸出「前年を上回っている」**
 - 管内通関実績（円ベース）でみると、輸出は、アジア向けの半導体等電子部品や半導体等製造装置などが増加していることから、前年を上回っている。なお、輸入は、前年を上回っている。

【その他の項目】

- **企業の景況感** 法人企業景気予測調査（令和4年1～3月期調査）の景況判断BSIでみると、全産業では「下降」超となっている。先行きについて、4年4～6月期は、全産業では「上昇」超の見通しとなっている。
- **公共事業** 前払金保証請負金額でみると、市町村や独立行政法人等などで減少していることから、前年を下回っている。
- **金融** 貸出金残高は、前年を上回っている。
- **消費者物価** 大阪市の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）でみると、交通・通信などが下落しているものの、光熱・水道などが上昇していることから、前年並みとなっている。
- **企業倒産** 倒産件数は、前年を下回っている。

3. 各府県の総括判断

	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較	総括判断の要点
大阪府	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は緩やかに回復しつつある。雇用情勢は持ち直しの動きがみられる。
京都府	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は緩やかに持ち直している。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
兵庫県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直している。生産活動は一部に供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直しつつある。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる。
奈良県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
和歌山県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は一部に供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は緩やかに持ち直しつつある。
滋賀県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は回復しつつある。雇用情勢は持ち直しつつある。